

キーワード:

基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用

学力向上に向けた取組

函館市立桔梗小学校

1 課題

個に応じた指導による、基礎・基本の明確化とその確実な定着。
言語環境を整え言語活動の重視

2 課題解決の具体策

- (1) 授業力向上のための校内研修の充実。
- (2) 地域・家庭との連携を深める読書活動の推進。

3 取組の概要

- (1) について
校内研修の充実「確かな学力を身につけ、意欲的に取り組む児童の育成」
ブロック別研修(算数科)
(低学年)

算数的活動を取り入れることにより、基礎的・基本的な知識や技能を身につけ、見通しを持ち、筋道を考えて表現しようとする子どもの育成を図る。

- ・学び合いの重視
- ・算数的活動・スキル学習の活用

(高学年)

自分の思いや考えを表現し、共に学び合うことにより、意欲的に取り組む児童の育成を図る。

- ・進んで表現しようとする意欲づけ
- ・表現力を高める工夫
- ・友だちの考えを理解し学び合う

個に応じた指導の充実

- TTの活用(4~6年生)
- 習熟度別コース選択学習の継続
- 長期休業中の特別学習会の実施



- (2) について

桔梗・石川地区の小学校、中学校、高等学校、家庭・地域が一体となって、それぞれの活動の中に読書活動の推進を位置づけ、子どもの豊かな心を培うことを目的として「桔梗・石川地区読書活動推進委員会」を設立した。

学校は、朝の読書活動をはじめ、読み聞かせ等、読書活動を一層推進する。

- ・朝の読書活動(隔週で一週間行う)
- ・読み聞かせ(全学年実施)
- ・図書館まつり(委員会活動、「おすすめの本」の紹介等)
- ・図書館蔵書の充実

(知恵の予算の活用、函館に関する蔵書コーナーの設置)

地域は、町会の諸活動の中に読書活動を位置づけ、地域総ぐるみで読書に親しむ機会を設定する。また、PTAは、読書活動の機会を設定し、親子共々読書に親しもうとする環境づくりに努める。

12月21日(桔梗中学校)

函館市文学館「出前講座：石川啄木を知ろう、啄木カルタ」



4 成果と課題

研究主題の解決に向け共通理解が図られ、児童の学力向上に向けて授業づくりができた。また、個に応じた指導により、学習意欲に高まりが見られた。読書活動が定着し、興味をもって読書する児童が増えてきた。算数科だけでなく、他の教科での活用が必要である。家庭への啓蒙活動がやや足りなかったため、PTAとしての活動の必要性を感じている。